



表紙, 大阪府立大学看護学部紀要投稿要領, 奥付,
裏表紙

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2014-03-26 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10466/13741

大阪府立大学看護学部紀要

第20巻 第1号

2014年

原著

- 新卒看護職者や看護学生を支援する教育指導者の育成プログラムに関する取り組みとニーズ …… 1
池内香織・細田泰子・中岡亜希子・中橋苗代
- 洗髪による頭皮の ATP 値と皮脂量の変化 …… 9
横山友子・杉本吉恵・田中結華・中岡亜希子

研究報告

- 病院統合を経験した看護師の認識の変化と看護管理上の支援 …… 19
撫養真紀子・池亀みどり・河村美枝子・清水厚子・志田京子・勝山貴美子・北居明・上野恭裕・青山ヒフミ
- 病院に勤務する看護師の職業継続意思に関連する要因の検討 …… 29
撫養真紀子・池亀みどり・河村美枝子・清水厚子・志田京子・勝山貴美子・北居明・上野恭裕・青山ヒフミ
- 急性心筋梗塞で経皮的冠状動脈形成術を受けた患者が必要と考える情報と
情報提供に関する看護介入 …… 39
石田宜子・古谷緑・高見沢恵美子・井上奈々・松本智晴・稲垣美紀・石澤美保子
- 真正ラベンダーの精油吸入とフットマッサージがもつリラクゼーション効果 …… 47
—自律神経機能を指標とした生理的効果と心理的効果の検討—
別宮直子・佐保美奈子
- 糖尿病性神経障害患者の徴候、症状と日常生活の支障との関連 …… 57
金村美和・簗持知恵子

総説

- がん関連倦怠感における研究の進展と今後の課題 …… 67
香川由美子

資料

- 慢性疾患看護専門看護師による倫理的看護実践支援の試みと評価 …… 77
藪下八重・竹川幸恵・簗持知恵子
- 糖尿病の開示を視座にしたセルフマネジメント教育プログラムの検討：一事例をとおして …… 85
南村二美代
- 精神科看護における「対応困難」に関する文献検討 …… 93
日下部祥子・田嶋長子・別宮直子
- さまざまな健康状態にある人々を対象とした歌唱介入の効果に関する文献検討 …… 101
宮本雅子・町浦美智子

大阪府立大学看護学部紀要投稿要領

1. 紀要について

- 1) 本学部の紀要の名称を「大阪府立大学看護学部紀要」(Journal of School of Nursing Osaka Prefecture University) とする。
- 2) 紀要は年1回発行する。
- 3) 紀要は学内に配するのみならず、他大学・研究機関等に寄贈する。
- 4) 紀要の編集は、紀要委員会が行う。

2. 投稿資格

原稿の第一著者は本学部の教員・非常勤講師、大学院生および大学院修了者(看護学研究科)で紀要委員会が認めたものとする。

3. 原稿の種類

- 1) 原稿の種類は、論壇、総説、原著、研究報告、その他である。それぞれの内容は下記のとおりである。

【論壇】 看護学に関連する問題や話題について、今後の方向性を指し示すような論述や提言

【総説】 看護学に関連する特定のテーマについて、多面的に知見ならびに文献を検討し、総合的に概説したもの

【原著】 看護学に関連した研究論文のうち、独創的で、新たな知見が論理的に示されているもの

【研究報告】 看護学に関連した研究論文のうち、内容において原著論文に及ばないが、研究の意義があるもの

【その他】 看護学に関連した資料、解説、実践記録、研究ノート等で、紀要委員会が適切と認めたもの

- 2) 投稿論文の内容は、他の出版物に掲載あるいは投稿されていないものに限る。

- 3) 投稿原稿の1編は本文、文献、図表を含めて以下の制限内にとどめることを原則とする

論壇	4,000字以内
総説	12,000字以内
原著	16,000字以内
研究報告	16,000字以内
その他	12,000字以内

4. 倫理的配慮

人および動物が対象である研究は、倫理的に配慮され、その旨が本文中に明記されなくてはならない。原則として倫理委員会の審査を受けること。

5. 投稿手続き

- 1) 印字した原稿3部(うち2部は査読のため名前・所属・謝辞を削除する)を紀要委員会に提出する。採用決定後の最終原稿には電子記録媒体をあわせて提出する。
- 2) 原稿等を提出する際には封筒に入れ、表に原稿表紙の複写を添付する。
- 3) 原稿執筆の要領は、別に定める。

6. 原稿の受付および採否

- 1) 原稿の受付日は、5.の投稿手続きを経た原稿が紀要委員会に提出された日とする。
- 2) 査読者(原則として2名以上)の意見をもとに、修正を求められた原稿の著者は、内容を修正の上で、紀要委員会によって定められた期日までに再投稿する。
- 3) 原稿の種類および掲載の可否についての決定は紀要委員会において行う。
- 4) 著者校正は2回行う。校正時の加筆は原則として認めない。

7. 原稿執筆の要領

- 1) 原稿は原則としてワープロソフトで作成し、A4判用紙1枚あたり、35文字×28行の横書きとする。
- 2) 原稿には表紙を付し、表題、著者名、所属先、図表の数、希望する原稿の種類を記載する。表題、著者名は英文も併記する。著者名の右肩に1)、2)と番号を付け、所属先を記載する。
- 3) 原稿の2枚目に抄録とキーワードを記載する。原著・研究報告の抄録は、和文は400字、英文は300語以内で本文の論旨がわかるよう記述する。抄録に続いて、論文の内容を的確に表現しうるキーワード(単語または語句)を日本語と英語で3~6個記載する。
- 4) 英文の表題および抄録はネイティブのチェックを受ける。
- 5) 図、表などは、1つずつA4用紙に配置し、

図1, 表1 (英文の場合は, Table 1, Figure 1) などの通し番号をつけ, 本文とは別に巻末に一括する。また, 原稿右欄外にそれぞれ挿入希望位置を朱書きで指定する。

6) 文献の記載方法は下記に従う

①本文中の文献表示方法

引用文献は, 引用箇所に着者名と発行年次(西暦)を括弧表示する。

著者が複数の場合は, 著者名は1名のみとし, 「ら」または「他」をつけて略する。

同一著者に同一発行年次の文献が複数ある場合は, 発行年次の後に小文字のアルファベット a, b, c... を付して区別する。

例: (小川ら, 2005), (Ogawa M, et al, 2004), (鈴木, 2003a), (鈴木, 2003b)

②文献欄の記載方法

文献欄は, 筆頭著者の姓のアルファベット順に記載する。共著者は3名まで記載し, それ以上の場合は「ら」または「他」をつけて省略する。

同一著者の文献が複数ある場合には, 発行年次の早い順に記載する。

同一年次に同一著者による文献が複数ある場合には, 本文中の表示に添付した小文字のアルファベット順に並べる。

文献の記載方法

[雑誌の場合]

著書名(発行年次): 表題名, 掲載雑誌名 (List of journals indexed medicus, 医学中央雑誌・収録雑誌略名表に準拠した略名も可), 号もしくは巻(号), 頁-頁。

[単行書の場合]

①著者名(発行年次): 書名(版数 初版は省略可), 出版社名, 発行地。

②著者名(発行年次): 論文の表題, 編者名, 書名(版数 初版は省略可), 頁-頁, 出版社名, 発行地。(欧文は編集者や監修者名の前に In, 後に (Ed) または (Eds) を記載)

[翻訳書の場合]

原著者名(原著の発行年次): 原著名, 出版社, 発行地。 / 訳者名(翻訳書の発行年次): 翻訳書名(版数), 出版社名, 発行地。

8. 著作権

原稿内容についての第一儀的な責任と権利は執筆者に帰属するが, 原稿の編集, 出版および電子情報化など二次的使用に関する権利は紀要委員会が執筆者から委託されたものとする。

9. 著者負担

論文の別刷りは, 1論文あたり30部までは無料とし, それ以上の希望については著者負担とする。

(附則)

この投稿要領は, 平成23年4月26日から施行する。

看護学部紀要委員会

委員長 堀井 理司

副委員長 田嶋 長子

委員 林田 裕美 岡本双美子 伊藤 良子

大阪府立大学看護学部紀要

第20巻 第1号

2014年3月15日 発行

編集 看護学部紀要委員会

発行 大阪府立大学看護学部

〒583-8555 大阪府羽曳野市はびきの3丁目7番30号

TEL (072) 950-2111 (代)

FAX (072) 950-2131

印刷 株式会社プリント大阪

〒581-0818 大阪府八尾市美園町4-83-1

TEL (072) 923-0370

FAX (072) 923-0335

**JOURNAL
OF
SCHOOL OF NURSING
OSAKA PREFECTURE UNIVERSITY**

Vol. 20, No.1

2014

Originals

- The initiatives and needs of education programs for mentors to support new graduate nurses and nursing students 1
K. IKEUCHI, Y. HOSODA, A. NAKAOKA, M. NAKAHASHI
- Change in ATP level and sebum quantity of scalp in hair washing 9
T. YOKOYAMA, Y. SUGIMOTO, Y. TANAKA, A. NAKAOKA

Reports

- Changes in the awareness of nurses who have experienced hospital mergers and in nursing management support 19
M. MUYA, M. IKEGAME, M. KAWAMURA, A. SHIMIZU, K. SHIDA, K. KATSUYAMA, A. KITAI, Y. UENO, H. AOYAMA
- Investigation of factors related to the job intention of hospital nurses to continue working 29
M. MUYA, M. IKEGAME, M. KAWAMURA, A. SHIMIZU, K. SHIDA, K. KATSUYAMA, A. KITAI, Y. UENO, H. AOYAMA
- The needs of information and nursing intervention among patients undergoing percutaneous coronary intervention due to acute myocardial infarction 39
Y. ISHIDA, M. FRUGAL, E. TAKAMIZAWA, N. INOUE, C. MATSUMOTO, M. INAGAKI, M. ISHIZAWA
- Distinctive relaxation effects of lavender oil and foot massage
—Physiological (autonomic nerve activity) and psychological indices— 47
N. BEKKU, M. SAHO
- The relationship between sign, symptom and disorder of daily activities in patients with diabetic neuropathy 57
M. KANEMURA, C. HATAMOCHI

Reviews

- Progress in research on cancer-related fatigue and issues to be addressed 67
Y. KAGAWA

Materials

- Trial and evaluation of an educational program for ethical nursing practice by certified nurse specialists (CNS) in chronic care nursing 77
Y. YABUSHITA, Y. TAKEKAWA, C. HATAMOCHI
- An examination of a diabetes self-management education program including disease disclosure sessions: a case study 85
F. MINAMIMURA
- Literature review of “difficulties in nursing care” in psychiatric nursing 93
S. KUSAKABE, N. TAJIMA, N. BEKKU
- A literature review of the effects of singing intervention for healthy people or patients with various health conditions 101
M. MIYAMOTO, M. MACHIURA

Published by

**SCHOOL OF NURSING, OSAKA PREFECTURE UNIVERSITY
3-7-30 HABIKINO
HABIKINOSHI, OSAKA, JAPAN**